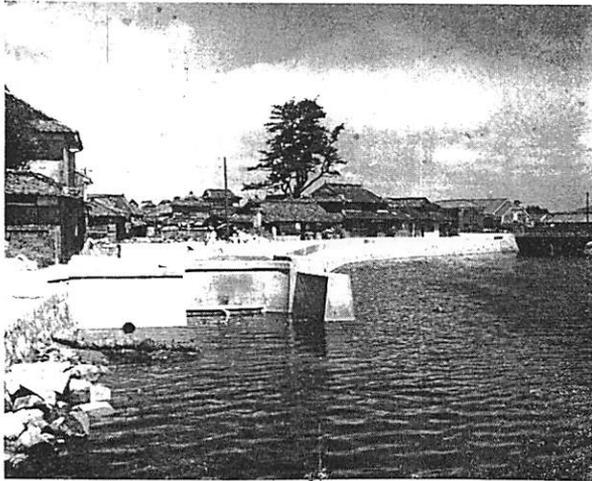


## 謹賀新年

昭和52年元旦



写真説明  
 上の右と下は、築地区(昔の大潮館)附近から小古郷方面  
 上左と下は西条区附近  
 中中と左下は小古郷海岸にある恵比須神社附近

### 写真でみる いまむかし

ことし町制三十周年！  
 そこで、この間に町内がどの  
 ように変わったか、写真を  
 比べてみることにしました  
 ところが、残っていた古い  
 写真と現在の箇所を合わ  
 せてみると防災工事の進ん  
 でいるところばかりでした  
 住みよい町とは「安心して  
 住める」ということが大  
 きな要件でもあります。  
 かつては、毎年どこかで  
 大きな災害が起きていた本  
 町も、近年は災害が非常に  
 少なくなっています。これ  
 も他市町村が感心している  
 ところです。  
 しかし、災害は予期せぬ  
 ところへ、思いがけず大き  
 な被害をもたらすこともあ  
 ります。  
 ことしも、大きな災害の  
 起きないことを願って新旧  
 写真比べてみました。

## ことし町制30周年

建設事業はさらに進める

町長 中尾岩雄



謹んで新年のおよろこび  
 を申し上げます。  
 お陰をもちまして昨年も  
 予定の事業に着手、あるい  
 は完成をみる事ができま  
 した。これひとえに、町民  
 各位のご理解とご協力の賜  
 もと感謝いたしております  
 す。今後、私たちの町、  
 みんなの地域づくりのため  
 に手を携えていきたいと  
 思っております。

さて、本町はことし町制  
 施行三十周年を迎えます。  
 昭和二十二年十一月二十三  
 日に山口市から分離、独立  
 して、ちょうどこの秋で満  
 三十周年になるわけです。  
 もともとの町制施行は昭  
 和十五年十一月三日、当時  
 の明治御現在の文化の日  
 に合わせて「井関村」から  
 「阿知須町」に昇格したこ  
 とにはじまります。そして  
 十九年に山口市と合併、二  
 十二年に分離して今日に至  
 っています。  
 その後三十年のうち、私  
 は二十年間、町政を担当さ  
 せていただいておりますが  
 これも、みなさまのあたた

かいご支援があったればこ  
 そと感謝でいっぱいです。  
 この三十周年を期に、こ  
 としは年中行事を通じて、  
 祝賀ムードを盛りあげてい  
 くと共に、心豊かな人間、  
 有能な人材を育てていく  
 めの町民意識の高揚をはか  
 っていくと考えるべきで  
 ます。  
 建設事業面におきまして  
 は農村総合整備事業(モデ  
 ル事業)や都市計画道路事  
 業を中心として道路交通網  
 の整備を進めていく計画で  
 す。  
 モデル事業は着手以来、  
 足かけ三年目に入りますが  
 8日 三学期始業式  
 10日 給食費・諸会費納入  
 11日 三年身体測定  
 13日 一・二年男子身体測定  
 14日 一・二年女子  
 18日 一年学年集金日  
 21日 三年学年集金日  
 新年のついで  
 (阿知須中)  
 1日 新年のついで  
 7日 三年模範テスト  
 8日 三学期始業式  
 10日 給食費・諸会費納入  
 11日 三年身体測定  
 13日 一・二年男子身体測定  
 14日 一・二年女子  
 18日 一年学年集金日  
 21日 三年学年集金日  
 新入児の検査  
 今年四月の小学校入学予  
 定者に対して、つきのとおり  
 健康診断を行います。  
 該当者には個人通知を送  
 付しますが、通知がない場  
 合は、つきのお会場にお越し  
 ください。  
 井関小 一月十九日  
 阿知須小 一月十九日  
 (後一時)  
 阿知須小 一月二十六日  
 (後一時)

1月のメモ	
元旦	新年互礼会(前11時)
4日	ご用始め
5日	出初式(前9時)
6日	第5回親子たこ上げ大会 (後1時半・干拓)
11日	育児相談(後1時半)
15日	成人式(前9時)
18日	幼児相談(後1時)
20日	幼児学級(後1時半)
22日	献血(前9時)
〔会場の記入のないのは役場〕	
1月の納税	
・町県民税	
・国民健康保険税	

ぼくの学校  
 わたしの学校

(としておく)と便利です)

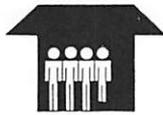




# 絵でみるわが町

(12月1日現在)

( ) カッコ内は50年 世帯 2130戸 人口 8232人



世帯の構成  
1世帯 3.86人 (3.85人)



出生年間 120人 (131人)



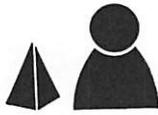
死亡年間 78人 (60人)



転入年間 347人 (347人)  
転出年間 361人 (332人)



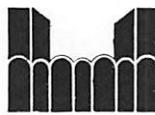
婚姻年間 137組 (127組)



町職員 96人 (96人)



教員 阿小17人 (17人)  
井小 9人 (8人) 阿中 19人 (19人)



事業所 313 (302)



白黒テレビ 279台 (336台)  
カラーテレビ 1775台 (1724台)



局線電話 1720台 (1462台)  
有線電話 1772台 (1853台)



軽自動車 1118台 (1111台)  
二輪・原付 770台 (788台)



簡易水道加入戸数 990戸 (938)



電灯 1世帯1か月584.4KW/H  
(263.1KW/H)



たばこ 1人1日5.9本 (5.8本)



交通事故 年間 70件 (80件)

## 親子で「たこ上げ」を 六日にこしも干拓で大会

町子ども会育成連絡協議会と町公民館共催で第五回親子たこ上げ大会を開催します。多くの参加者を望んでいます。

日時 一月六日(土) 参加者は午後一時、阿小運動場に集合、当日雨天が無風の場合は七日に変更(有線での知らせ)。

場所 阿知須干拓

資格 町子ども会会員とその親子も自由のもの

作品 たこ上げの絵、親子合作のもの

期限 一月五日正午までに町教育委員会へ学年と氏名をお知らせください。有二二七ア賞、優秀賞、そのほか参加者には参加賞を贈ります。

すぐれた作品にはアイデア賞、優秀賞、そのほか参加者には参加賞を贈ります。

農業委員の選挙人名簿は、毎年一月一日現在で調整されています。このため、町農業委員会には区長から申請書が配布されておりましたが、区長が農業委員会へ提出する期限が一月十日(月)となつております。それに間に合うようにご提出ください。

なお、該当する家庭で登記申請書が届いていない場合は、農業委員会(役場産業課・有二三)へお申出ください。

## 農業委員の選挙人名簿

該当者の申請は一月十日まで

農業委員の選挙人名簿は、毎年一月一日現在で調整されています。このため、町農業委員会には区長から申請書が配布されておりましたが、区長が農業委員会へ提出する期限が一月十日(月)となつております。それに間に合うようにご提出ください。

なお、該当する家庭で登記申請書が届いていない場合は、農業委員会(役場産業課・有二三)へお申出ください。

## 慶弔録

出生(おすこやかに)

父 橋本 子 名 月 日 部署 産科 市

中野敏男 長女由美子12日 南祝 好子(田村)宇部市東区

河崎 鴻 二女典子12日 南祝 和忠 北野 日北

森崎守久 二女澄枝12日 日東 岩前

江本初男 三男晴幸12日 南祝 正子 藤原 宇部市

伊藤健治 長男圭二12日 日東 高野 南祝

繩重道二 二女幸子12日 南祝 澄子 松本 宇部市

末永秀夫 長男基規12日 南祝 山口由紀 大府市

又野孝夫 一男聡志12日 南祝 厚子(上野) 北祝

結婚(おしあわせに)

川本敏雄 大府市

博子(三好) 萩市

桂三郎 宇部市

幸子(新倉) 西条

西山一夫 源河

藤子(前田) 宇部市

片山正孝 河内

赤子 兼田 赤迫

田村良造 阿武郡阿東町

イミ子 山本 南祝

西村 實 大府市

ササ子(高本) 砂一

松崎哲雄 萩市

手裕(赤柳) 宇部市

死亡(ご冥福を祈ります)

氏名 月日 年令 部署

森田彌太郎 12月11日 68歳 浜

福岡リカ 12月11日 90歳 浜

吉竹ヨシノ 12月11日 79歳 小西

田中ヨシ 12月19日 87歳 厚比須

安光 為成 12月23日 74歳 南祝

## 交通ルールを守って ことしも 一家が平和

昨年一月から十二月の間、に家庭を新築、増築、改築してまだ評価の済んでいないもの、また家を解体された方は町税務課固定資産課へご連絡をお願いします。電話での連絡でも結構です。

もたして課税されます。

昨年一月から十二月の間、に家庭を新築、増築、改築してまだ評価の済んでいないもの、また家を解体された方は町税務課固定資産課へご連絡をお願いします。電話での連絡でも結構です。

## 役場の窓

本年のエトは「役」です。七日の朝七時から一時間、交通量は上り下りして八四二台でした。道路幅も広く、路切停車もなく、車の流れは極めてよいようです。

一方、従来の一九〇号線は車になりすぎて、きびしくなりました。と交通量の増加にとまどい気味です。

静かになりすぎて、きびしくなりました。と交通量の増加にとまどい気味です。

## みんなの お花壇

あなたの文芸作品や、お気づきのものなどをお寄せください。

御題 「海」 によせて

砂三 藤水ミツノ  
北祝 原田 双恵  
浜 正司ウメノ  
小東 松尾 君代  
飛石 藤重 幾代

白浜の水田裏船で出でし海大洋ときどきおどろく  
工場でき干拓となり草生ひて昔の海を懐かしみ  
朝風の水線に昇りくる朝日の光海に輝く  
折角の平戸の海に雨が降る旭美しと尋ねて来しが  
潮退けば遠石にのびる砂州ありき心にのこる海のおも  
か

巨北 益弘喜久子  
草色の樅塔高く海峡は冬に入りゆく弱光りつつ  
砂一 松代 二郎  
水平線の船影見つと思うかな四十年が過ぎし海  
砂三 渡辺 宮子  
オホツツクの海より宗谷に吹きつける風はわが竹笹  
山に鳴る

砂三 桜井 文子  
豪族の住みたる跡か海見ゆるこの奥津城に髪かかれ立  
つ

小西 藤重アヤ子  
早朝の川けり立ち内海に背黒島の低く飛び交う  
小西 平海アサノ  
昨日まで海にただよい黒い海苔白く帯封して今日は  
出荷す

小西 徳本 喜一  
産卵を終えたる亀が大海に去りたるらさし砂の足跡

岩西 中本 幸枝  
朝風きの海に鐘を入れし船太きラララ村磯浜あげ落つ

飛石 砂村ヤス子  
瀬戸内の波静かなる海風に雪柳一枝返り花せり

浜 石田サダ子  
冬の雨かすみて静まる海の彼方岩屋の影に明かりとも  
りて

砂三 浜崎 恒子  
流水を拾い集める奉仕作業ながれる汗は海のおいす